

ソーシャル ストーリー
Social Story

はじめて
美術館に
いきます。

こうちけんりつびじゅつかん
高知県立美術館



きょう こうちけんりつびじゅつかん い ひ
今日は、高知県立美術館へ 行く日です。

わたしは、このストーリーを読むことで

びじゅつかん びじゅつかん なか す かた
美術館のこと、美術館の中でできることや 過ごし方について

し かんが
知り、考えることができます。

それでは、美術館へ 行きましょう！



5

さまざまな
過ごし方

24~29 ページ

しゅっぱつ



3

てんじしつ
展示室に
はい まえ
入る前

10~17 ページ

1

じゅんび
準備します

2~5 ページ



2

で
出かけます

6~9 ページ



4

てんじしつ なか
展示室の中

18~23 ページ



でぐち

6

さいごに

30~31 ページ





びじゅつかん
美術館って どんなところ？

こうちけんりつびじゅつかん みぎ さくひん
高知県立美術館には、右のような作品が あります。

にほん ほか くに
日本や他の国で つくられた

ねん まえ げんざい え しゃしん ちょうこく
200 年くらい前から 現在までの絵や写真、彫刻などが、

やく まん てん
約4万 2000 点 あります。

なか こうちけん かんけい さくひん
その中には、高知県に関係のある作品も あります。

これらを きせつ あ てんじ
これらを 季節やテーマに合わせて、展示しています (コレクション展)。

また、ある期間だけ ほかの美術館などから 作品を借りて

てんらんかい きかくてん
展示会がおこなわれることも あります (企画展)。

わたしは、美術館の中にある「展示室」で、作品を見ることができます。

てんじしつ ほか えいが えんげき み
「展示室」の他に、映画や演劇などを 見ることができる、ホールもあります。

3 ページにある 写真①から④の説明です。
 さくひん つくった人、「作品の名前」、作品が つくられた年
 という 順番で書かれています。

①	いしもとやすひろ 石元泰博	「シカゴ 街」	1959-61 年
②	いしかわとらじ 石川寅治	「繫船」	1932 年
③	かわだしりょうりょう 河田小龍	「納涼美人図」	1854 年
④	パウル・クレー	「ホフマン風の情景」	1921 年



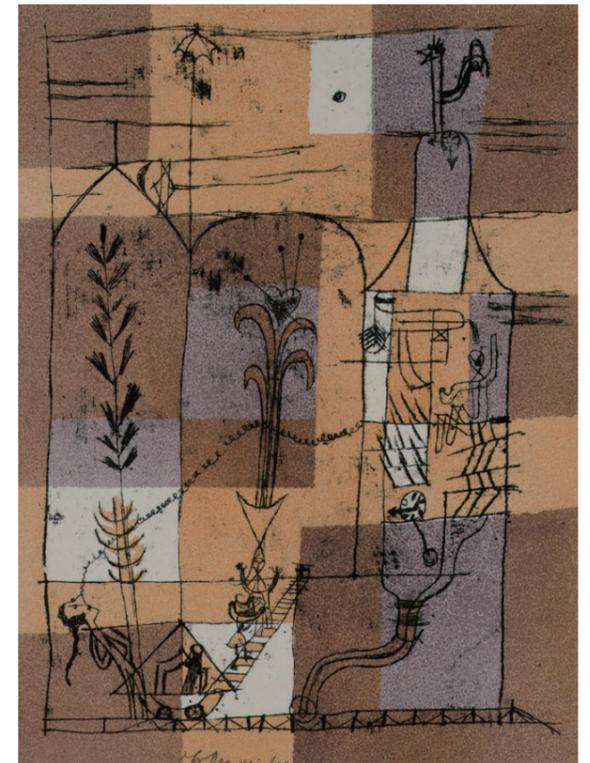
①



②



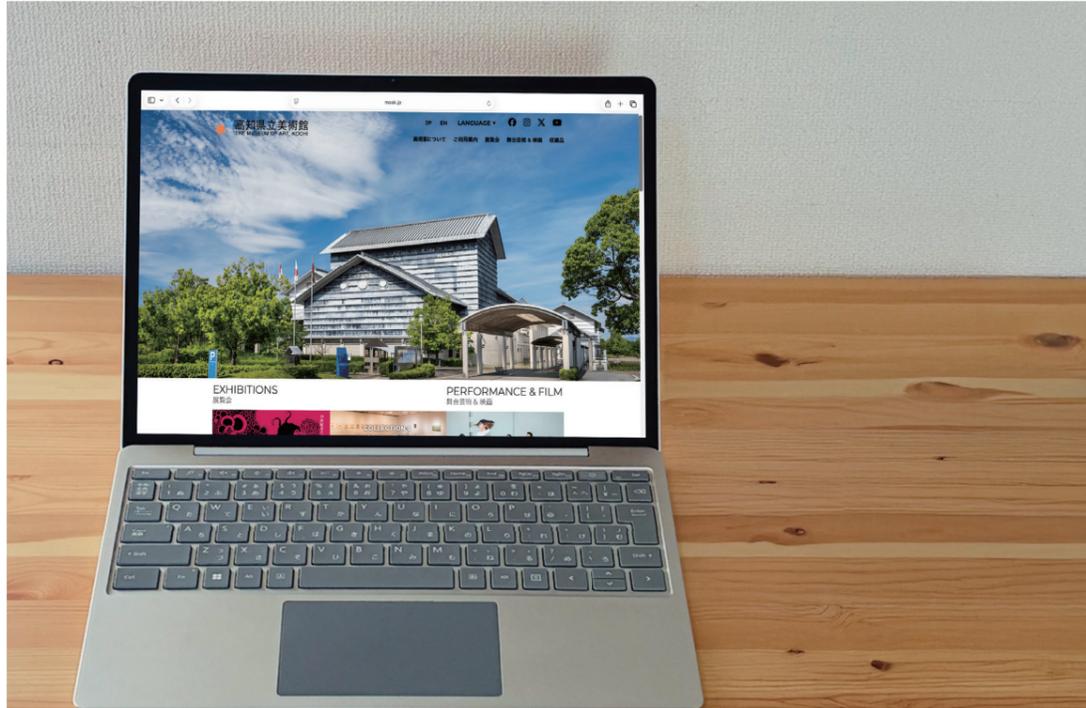
③



④



びじゅつかん いまえ
美術館へ行く前に やること



びじゅつかん いまえ
美術館へ行く前に、ウェブサイトを見ます。

ウェブサイトでは、

てんらんかい じょうほう し
展覧会やイベントなどの情報を 知ることができます。

い まえ あ じかん やす ひ い かた しら
行く前に、開いている時間と お休みの日と 行き方を 調べます。

てんらんかい ゆうりょう ひつよう ばあい
展覧会やイベントは、有料のチケットが 必要な場合と

むりよう み ばあい かくにん
無料で見られる場合もあるので、ウェブサイトを よく確認します。



こうちけんりつびじゅつかん
高知県立美術館の ウェブサイト (<https://moak.jp>)

ウェブサイトを見ても わからないときや

かくにん
確認したいことが あるときは、

つき れんらくさき でんわ てがみ
次の [連絡先] に 電話かメール、手紙などで

き
聞くことができます。



こうちけんりつびじゅつかん
高知県立美術館
トップページ

れんらくさき
[連絡先]

でん わ
電 話：088-866-8000

メ — ル：museum@kochi-bunkazaidan.or.jp

じゅう しょ こうちけん こうちし たかす
住 所：〒781-8123 高知県 高知市 高須 353-2



えき びじゅつかん い かた
駅から美術館への 行き方

びじゅつかん こうちし たかす
 美術館は、高知市 高須に あります。



びじゅつかん こうつうろめんでんしゃ
 美術館へは、「とさでん交通路面電車」の
 でんてい けんりつびじゅつかんどおり い
 電停「県立美術館通」から 行きます。



けんりつびじゅつかんどおり でんてい
 「県立美術館通」の電停で おりたら、
 おうだんほどう さか
 横断歩道をわたり、坂をのぼります。



さか はし
 坂をのぼったら、橋を わたります。
 あと さか くだ
 その後、坂を 下ります。

びじゅつかん とうちゃく
美術館に 到着！



ひだりがわ くら おお たてもの
 左側に 蔵のような、大きな建物が あります。

たてもの こうちけんりつびじゅつかん
 その建物が、高知県立美術館です。

びじゅつかん ちゅうしゃじょう くるま い
 美術館には 駐車場があるので 車で行くことも できます。

びじゅつかんない
美術館内マップ

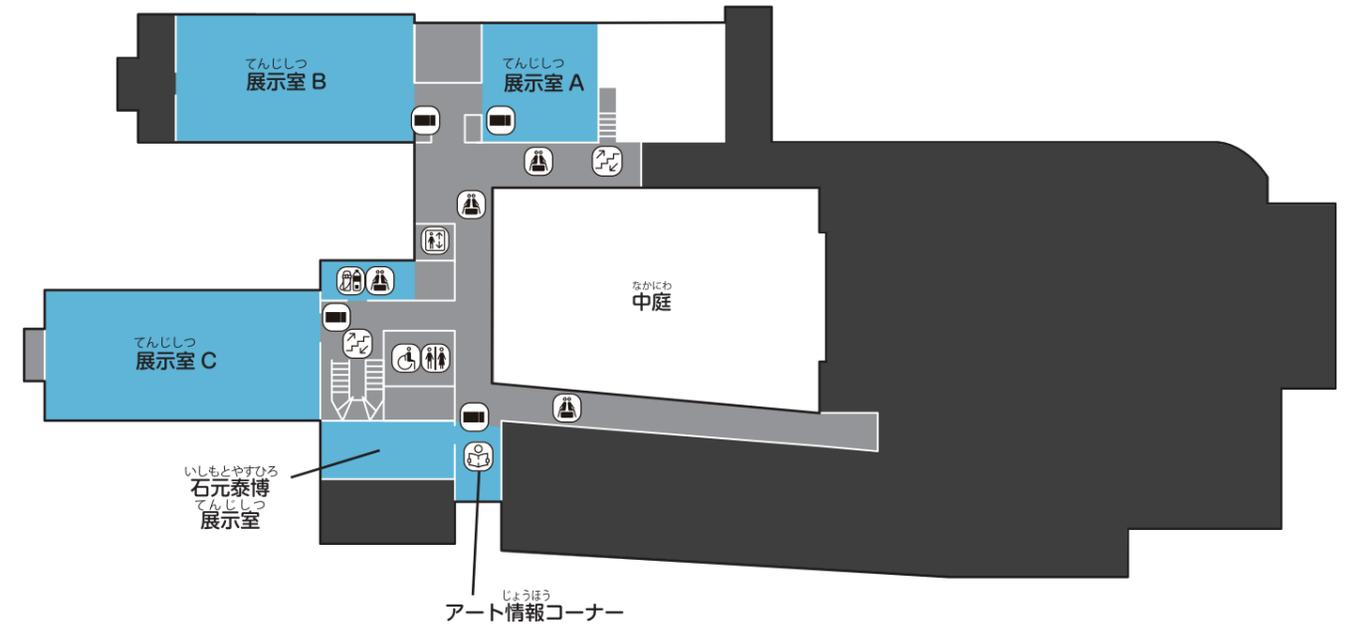


てんじしつ けんみん ふく ぜんぶ しつ
展示室は「県民ギャラリー」を含めて、全部で6室あります。

1 階



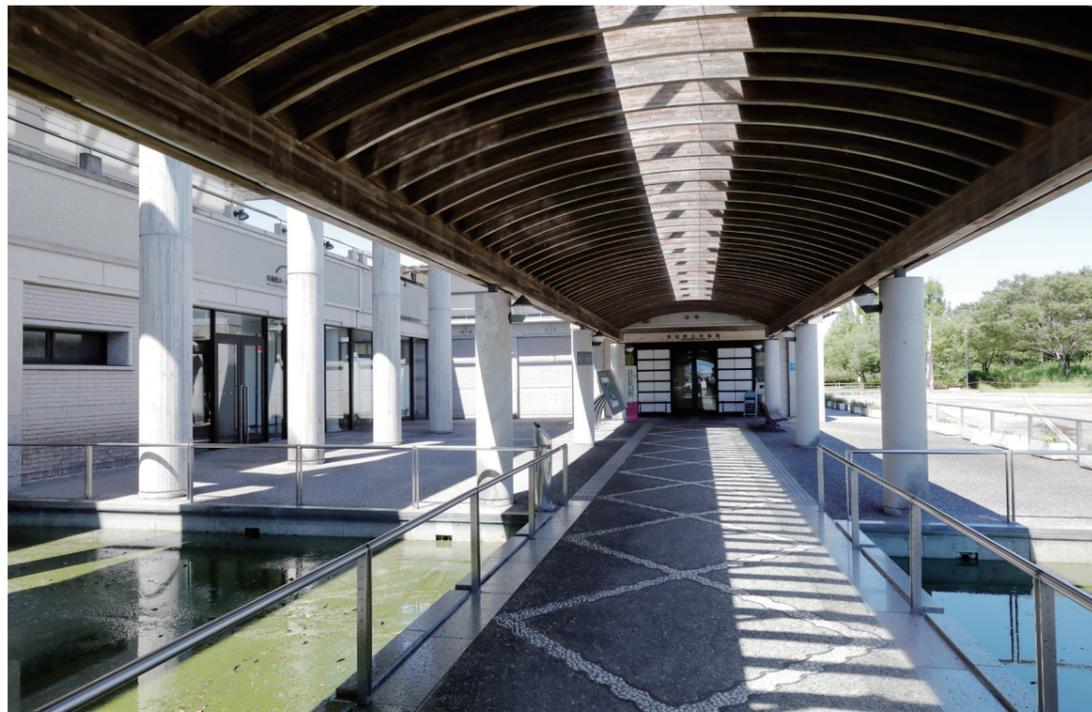
2 階



- 入り口
 出口
 階段
 エレベーター
 かさ立て
 総合案内
- コインロッカー
 トイレ
 バリアフリートイレ
 てんじしつ 展示室
 カフェ
 ショップ
- チケットを見せる場所
 お金を払う場所
 やすむ場所
 映象を見る場所
- の 飲み物を飲む場所
 はなし きく場所
 本を読む場所
 こうさく 工作をする場所



びじゅつかん いりぐち
美術館への入口



びじゅつかん いりぐち かい しょうめん
美術館の入口は、1階の正面に あります。

なが や ね みち とお
長い屋根のある道を 通ります。

いりぐち
ホールの入口は、

びじゅつかん いりぐち ひだり わ
美術館の 入口の 左どなりにあり、分かれています。

かさ立て
た



なが さくひん あぶ も
長いかさは、作品にあたると危ないので、持ちこみません。

なが も
長いかさを 持っているときは、

いりぐち た い
入口にあるかさ立てに かさを入れます。



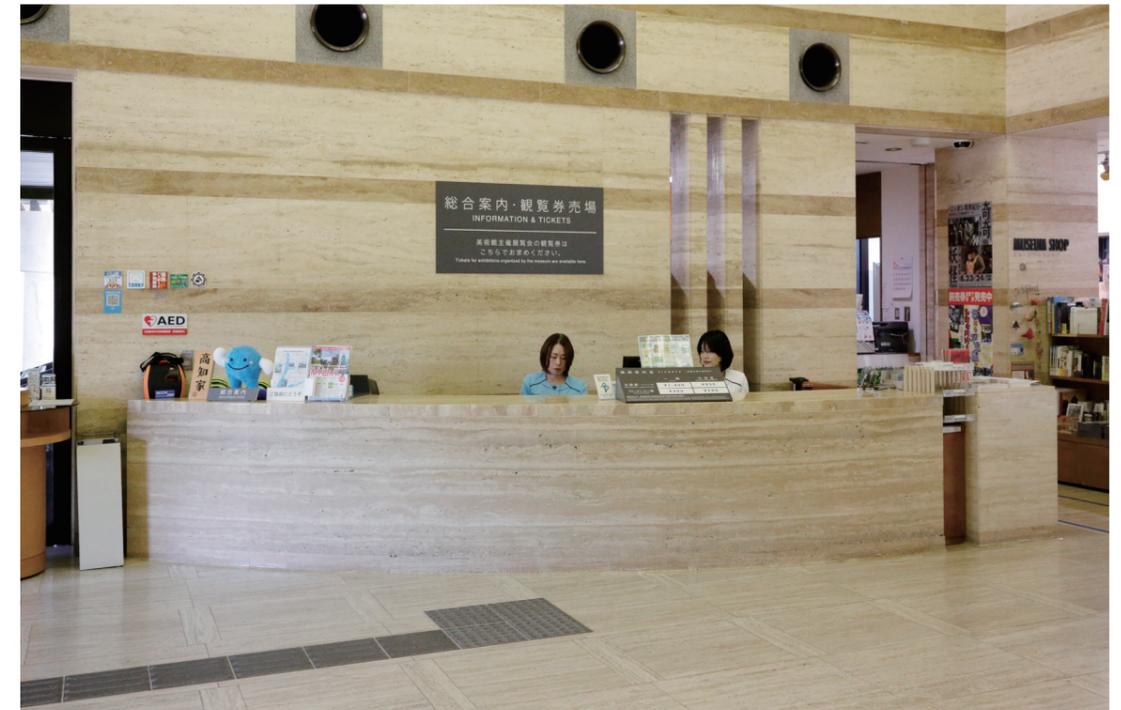
げんかん
玄関ロビー



びじゅつかん なか はい
美術館の中に入ると、
ひろ げんかん
広い玄関ロビーが あります。

げんかん びじゅつかん なか
玄関ロビーをはじめ 美術館の中は、
ひと
たくさんの方がいたり、さわがしいことも あります。
ひと
人にぶつかったり、転んだりすると ケガをするので
ゆっくりある
歩きます。

そうごうあんない
総合案内



そうごうあんない げんかん はい ひだりがわ
「総合案内」は、玄関ロビーに入って 左側に あります。

そうごうあんない びじゅつかん
総合案内をはじめ、美術館には、
わたしをむかえてくれる、さまざまなスタッフが 働いています。
スタッフは、き 決まった制服を着ていたり、なふだ つ 名札を付けてたり しています。
かくにん たす ひつよう
確認したいことがあるときや、助けが必要なときは
スタッフに たずねることができます。
そうすれば、そのスタッフは よろこんで こたえてくれます。



美術館で働いている スタッフたち

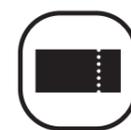


総合案内など、建物の中にある スタッフ



建物の中や外を見回しする警備スタッフ

チケット売り場



玄関ロビーにある 総合案内で チケットを買います。

スタッフに 見たい展覧会の名前を 伝えて、



チケットを買って 受け取ります。

障害者手帳などを 持っている場合は、

スタッフに 見せることで、チケットが 無料になったり、安くなります。

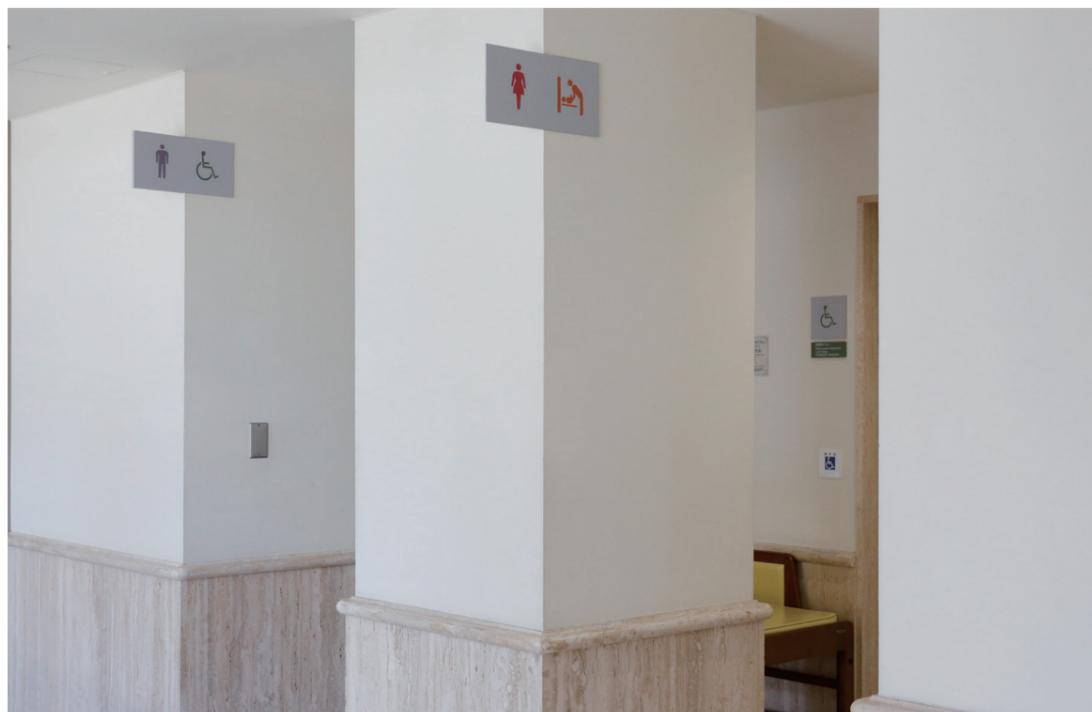
わたしが受け取ったチケットは、なくさないようにします。

人がたくさんいるときは、自分の順番がくるまで

列に並んで 待ちます。



トイレ



トイレへの入口 (2階)



トイレは、1階と2階に あります。



また、バリアフリートイレも あります。



バリアフリートイレの中 (1階)

かばんを あずけるとき (コインロッカー)



かばんは、1階にあるコインロッカーに あずけることができます。

コインロッカーを使えば、
かばんを持たないで 展示を見ることができます。

コインロッカーの中に かばんを置いたら、

100円玉を入れて かぎを閉めます。

かぎをぬき取り、なくさないように

ポケットや おさいふの中に しまいます。

100円玉は、かぎを開けるときに もどってきます。



てんじしつ かい
展示室へ 行くとき



(1階から2階)



(1階)

これから、作品を見に 展示室へ 行きましょう！



2階にある展示室へ 行くときは、



階段か エレベーターを使います。

てんじしつ はい かた
展示室への入り方



展示室は、全部で6つあります。

それぞれの入口に、スタッフがいます。

わたしは、展示室についての説明を スタッフから聞きます。



スタッフにチケットなどを見せてから、入ります。

「県民ギャラリー」に入るときは、

展示室の 入口で、チケットを 買う場合が あります。

1

2

3

4

展示室の中

5

6

てんじしつ
展示室



てんじしつ
展示室 A (2階)

てんじしつ
展示室では、え ちょうこく
などの さくひん
たくさんの作品を みる
ことができます。

わたしが す
好きなタイミングで き
気になった作品を みる
見ます。

メモ

わたしは、てんじしつ
展示室で見つけたものや き
気になったことなどを メモします。
メモするときは、えんぴつ
鉛筆を つか
使います。

てんじしつ なか さくひん み
 展示室の中で 作品を見るとき



いしもとやすひろてんじしつ かい
 石元泰博展示室 (2階)



てんじしつ なか ひと
 展示室の中は、たくさんの方が いることも あります。

ひと さくひん よ ひかり
 また、人にも 作品にも ちょうど良い光にするために、

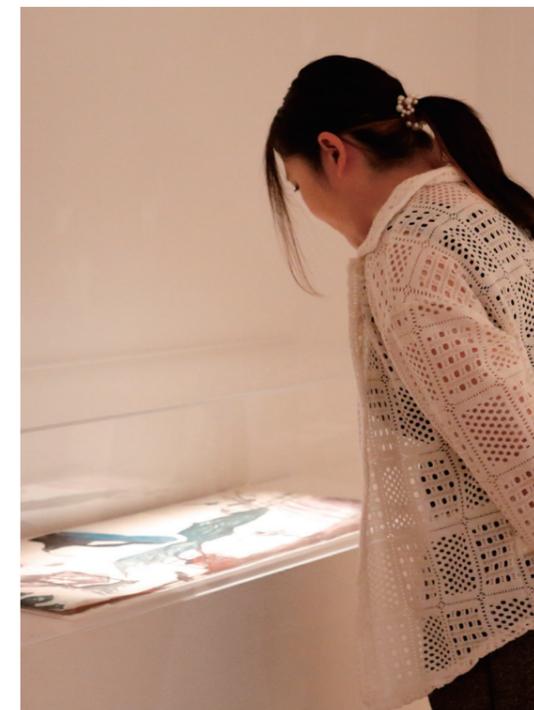
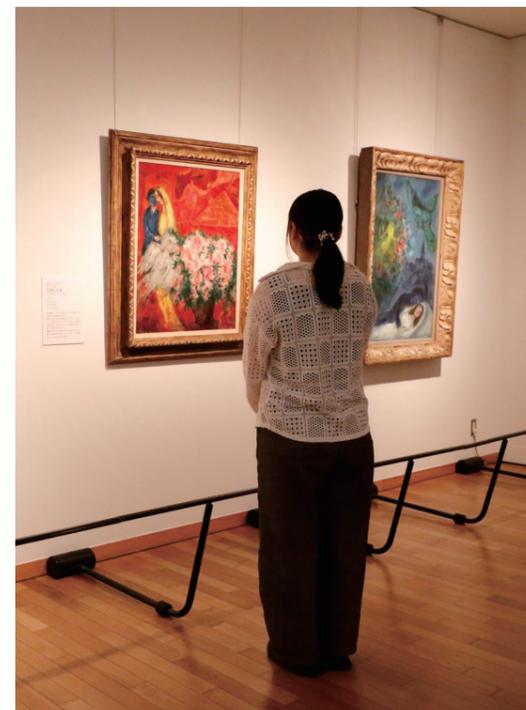
すこ くら
 少し暗いところも あります。

まわ ひと さくひん
 わたしは、周りの人や作品などに

ぶつからないように、ゆっくり歩きます。



はな ちい こえ はな
 話すときは、小さな声で 話します。



さくひん たいせつ
 作品は、とても大切なものです。

よごれたり、こわれないように 作品には触りません。

ゆか
 そのため、床に「さく」や「テープ」などの目印が あります。

しゃしん
 写真のように、さくより うしろに下がって見ます。

さくひん はい
 作品が「ガラスのケース」に入っているときや

だい うえ お
 「台」の上に 置かれているときは、

ガラスのケースや 台に触らないで、見ます。



やす ばしょ
 休む場所



きゆうけい かい
 休憩コーナー (1階)



かい かい きゆうけい
 1階と2階には、「休憩コーナー」があります。

きゆうけい の の
 休憩コーナーでは 飲みものを 飲むこともできます。



かい かい ろうか
 また、1階と2階の廊下にある「いすコーナー」でも、
 やす
 休むことができます。



かい
 いすコーナー (2階)

ほん ばしょ
 本がある場所



じょうほう かい
 アート情報コーナー (2階)



かい じょうほう
 2階にある「アート情報コーナー」は、
 てらんかい さくひん ほん ばしょ
 展覧会や 作品についての本が ある場所です。

き ほん よ
 気になった本を 読むことができます。

よ ほん もと ばしょ うけつけ かい
 読んだ本は、元の場所か「受付カウンター」に返します。



うけつけ かい
 受付カウンター (2階)



はなし き ば しょ
話を聞く場所



こうぎしつ かい
講義室 (1階)



かい こうぎしつ
1階にある「講義室」では、

てらんかい びじゅつ はなし き
展覧会や 美術についてのお話を 聞くことも あります。



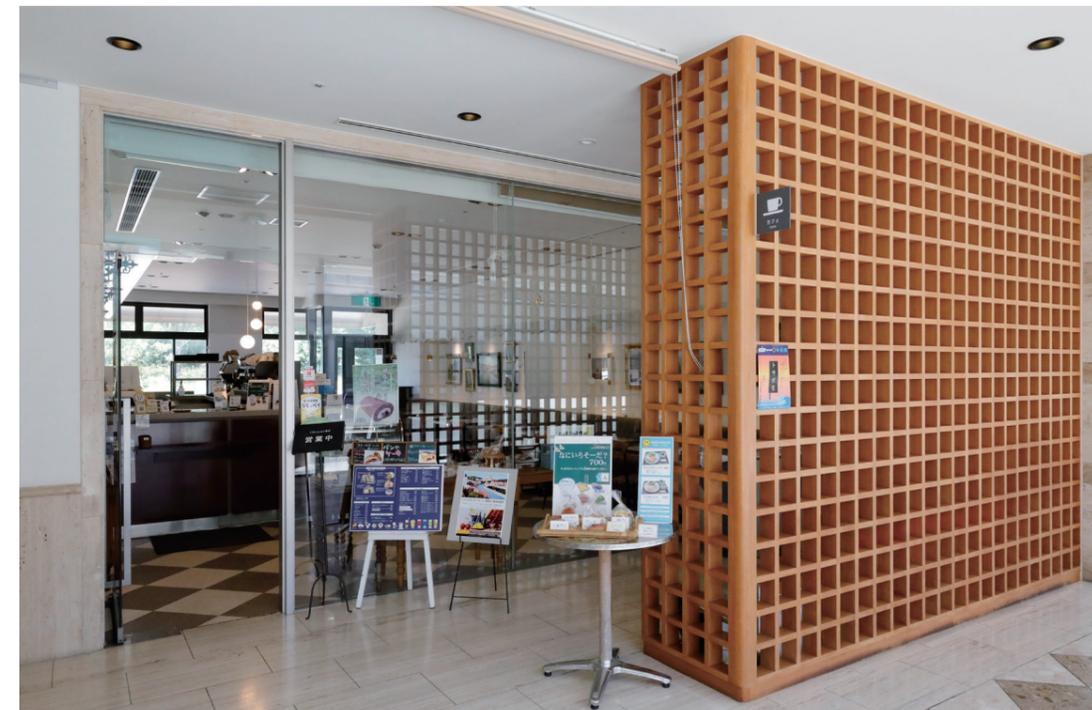
そうさくしつ こうさく さんか
「創作室」では、工作をしたり、イベントに参加して

たの
楽しむことも あります。



そうさくしつ かい
創作室 (1階)

カフェ



ミュージアムカフェ・マルク (1階)



かい
1階にあるカフェでは、

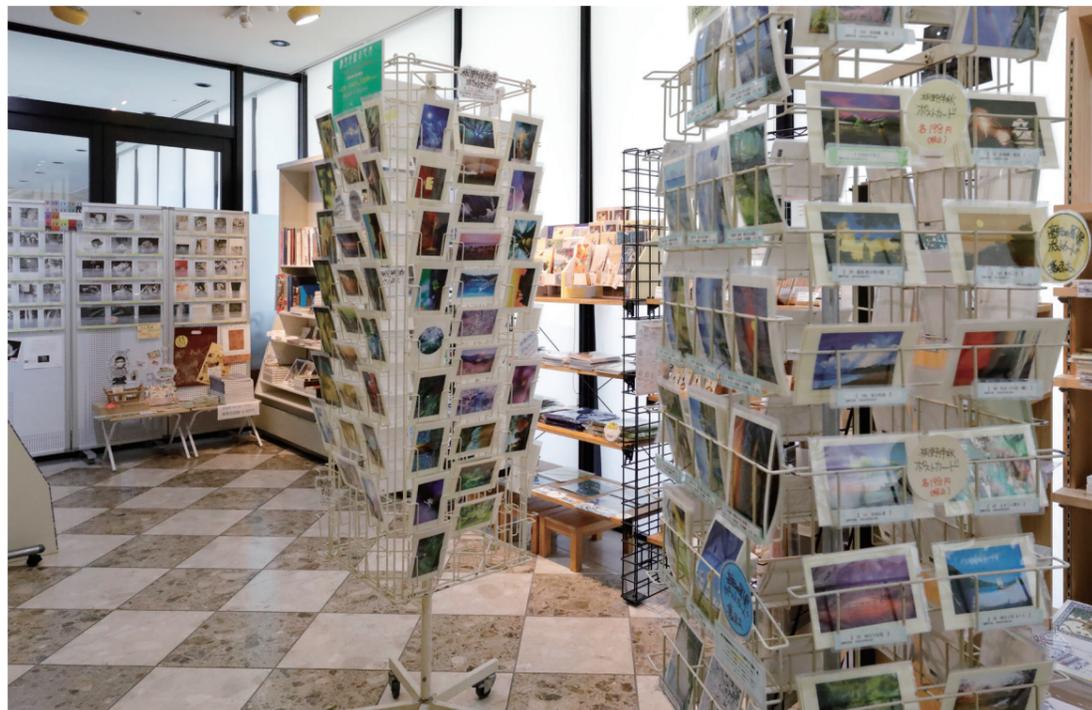
かね はら
お金を払って、パンやケーキ、ランチセットなどを



た
食べることができます。



ばいてん
売店 (ミュージアムショップ)



(1階)



かい
1階にある「ミュージアムショップ」は、
てらんかい さくひん
展覧会や 作品のポストカードや グッズなどを



う みせ
売っているお店です。

みやげ か
お土産を 買うことができます。

ホール



ホールの入り口



えいがじょうえいかい えんげき
ホールでは 映画上映会、ダンス、演劇、
コンサートなどを 楽しむことができます。



のうぶたい
また、ホールのステージが「能舞台」にもなり、
のう かぐら み
能や神楽を 見ることもできます。



のうぶたい
能舞台



でぐち
出口



(1階)



でぐち かい
出口は、1階の エントランスホールに あります。

た
コインロッカーやかさ立てに

かばんやかさを あずけている場合は、

わす も かせ
忘れないで持ち帰ります。

びじゅつかん たの
美術館を楽しむ



びじゅつかん いちにちじゅう ひと
美術館に 一日中いる人もいれば、

みじか じかん す ひと
短い時間を過ごす人も います。

ひとり
また、一人で ひとつの作品をじっくりと見る人も、

だれかと一緒に 作品を見て、感じたことを伝え合う人も います。

たの かせ ひと
楽しみ方は、人それぞれです。

たいせつ
大切なのは、わたしのペースで

びじゅつかん じかん たの
美術館での時間を 楽しむことです。

Social Storyとは？

「Social Story (ソーシャルストーリー)」とは、主に発達障害 (神経発達症) の方と

その家族や関係者をサポートする 社会学習ツールです。社会的な状況や行為などを、

絵や写真を使い、やさしい文章で 説明します。当事者と関係者とが、

そのときの状況や 活動内容などの情報を 互いに理解し、安心できる状態をつくることを

目的としています。

高知県立美術館では、発達障害の方をはじめ、美術館をはじめて訪問する方、

利用に不安を感じる方などが、どなたでも 高知県立美術館を楽しみながら

過ごすことができるよう、当事者や 医療関係の専門家をはじめ、独立行政法人国立美術館

国立アトリサーチセンターの 協力を得ながら、このストーリーを作成しました。

ストーリーでは、写真や文章で 入館から退館までの様子が 説明されています。

建物の内外でのルールを 事前に知ること、見通しを持って、

安心して過ごす手助けとなるように 構成しています。

高知県立美術館のウェブサイトで、ソーシャルストーリーのデータを公開しているので、

訪問前にお使いください。ご来館をお待ちしています。

ウェブサイト <https://moak.jp>



Social Story はじめて 美術館に いきます。

高知県立美術館

編集

高知県立美術館

監修・制作協力

独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンター

デザイン

スタビーデザイン

写真

よさこい高知文化祭2026高知県実行委員会

発行日

2026年3月27日

発行

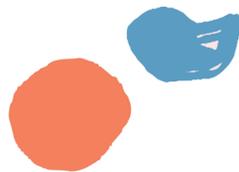
よさこい高知文化祭2026高知県実行委員会

高知県立美術館



* 3 頁に のっている 作品の クレジット

① © 高知県, 石元泰博フォトセンター



高知県立美術館

THE MUSEUM OF ART, KOCHI

この Social Story は、国立アトリサーチセンター提供によるデザイン・フォーマットを元に制作されました。
Copyright © 2025 The Museum of Art, Kochi, National Center for Art Research, Japan

